

自己点検報告書

2020 年 9 月 18 日
動物実験委員長

丸山 みゆき

調査対象期間：2019 年 7 月 1 日～2020 年 6 月 30 日

点検項目	点検結果
規則、組織	3R に配慮した動物実験を、適切に実施する規定及び体制は整っていると考える。
動物実験委員会	動物実験が適切に実施される上で、委員会は適切に機能していると考ええる。不測の事態に対応できる規定は整備された。
動物実験計画書	動物実験開始前に、動物実験委員会による審議が行われ NAS 研所長による承認を得ている。変更届、中止届も適宜提出され、NAS 研所長による承認を得ていることが確認された。
教育訓練	社内研修会 8 回、社外研修会 3 回、新人研修や飼育現場での研修会を 28 回行っている。新型コロナウイルスの影響で社内・外研修の機会が減ってきているが、様々な方法を駆使し、情報の共有化を図っている。
自己点検・評価	動物実験委員及び動物実験実施者による自己点検調査報告書の作成を行い、課題点の抽出及び対応が具体的に行われていると考ええる。
動物実験の実施	承認された動物実験計画書に基づいて試験が実施され、変更・中止、終了の手続きが適切に執られている。
麻酔薬、向精神薬	麻酔薬、向精神薬の取扱いは、法に基づいて適切に行われている。その他の薬品も含めた薬品管理の SOP を作成している。
飼育管理	動物実験実施者の多くは実験動物技術者 2 級以上の資格を有しており、各動物の飼育管理に精通している。動物種ごとの飼育管理指針の更なる追加が必要である。
施設・設備	昨年の台風 15 号により数日間の停電、断水があったが、自家発電装置により大きな問題なく動物の維持管理が行えた。
安全管理	教育訓練をとおして、動物、作業従事者及び環境にとって安全であることに努めている。
その他	動物実験の方法を定めた SOP 及び動物種ごとの飼育管理指針の充実を、継続して行っている。
NAS 研所長署名	丸山 一郎 2020 年 9 月 24 日